光晴会病院化学療法委員会
2024 年 3 月 1 日改訂

アービタックス+FOLFIRI 療法

患者番号:　　氏名:　　性別：　　年齢:

がん種（適応）	大腸癌		
開始年月日	年　月　日	1 コース期間	14　日間
体格	身長　cm　体重　kg　体表面積　㎡		
嘔気・嘔吐リスク	中等度	制吐剤	パロノセトロン注 +デキサート注 6.6mg
特記事項 （イリノテカン）	遺伝子多型（複合ヘテロ及びホモ）では減量を考慮 複合ヘテロ：(*6/*28)　ホモ：(*6/*6)(*28/*28)		

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール
アービタックス	mg（500mg/㎡）	2 時間	Day1
イリノテカン	mg（150mg/㎡）	2 時間	Day1
レボホリナート	mg（200mg/㎡）	2 時間	Day1
5-FU（急速静注）	mg（400mg/㎡）	15 分	Day1
5-FU（持続静注）	mg（2400mg/㎡）	46 時間	Day1

【処方が必要な内服薬】

レスタミン錠（10）5 錠　　アービタックス開始 30 分前
マグミット 330mg　6 錠 3×毎食後　/3 日間
ｳﾙｿﾞﾃﾞｵｷｼｺｰﾙ酸錠 100mg　3 錠 3×毎食後　/3 日間
炭酸水素ナトリウム錠 500mg　3 錠 3×毎食後 2 時間　/ 3 日間
ミノサイクリン（100）2C2×朝夕食後　ヘパリン類似物質油性クリーム　全身
ベタメタゾン酪酸エステル軟膏（アンテベート GE）　体　ロコイド軟膏　顔

□HBs 抗原(＋) → 消化器内科紹介
□HBs 抗原(－) → □HBs 抗体(－)and HBc 抗体(－)
□HBs 抗体(＋)and/or HBc 抗体(＋) → □HBV-DNA 定量(－) → 3 ヵ月毎 定量
□HBV-DNA 定量(＋) → 消化器内科紹介

指示医師サイン＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿